

報道関係各位

2019年11月8日

株式会社アイデム

15回目を迎える小・中・高校向け写真コンテスト「はたらくすがた」

応募作品 8,274 点の中から受賞作品が決定

～大人の“働く姿”を被写テーマにすることで、子どもが働くことを考えるきっかけに～

総合人材情報サービスの株式会社アイデム(東京都新宿区 代表取締役社長: 梶山 亮)は、今年で15回目を迎える「アイデム写真コンテスト『はたらくすがた』」において、応募作品点の中から受賞作品を決定いたしました。今回の受賞作品は、11月21日(木)から12月4日(水)まで、当社ビル併設のアイデムフォトギャラリー「シリウス」にて展示します(入場料無料)。

アイデム写真コンテスト『はたらくすがた』は、小学生・中学生・高校生から、身の回りで働く大人の姿を被写体とした写真作品を募集するコンテストです。シャッターチャンスを狙って大人の“働く姿”と真剣に向き合うことで、子どもたちに働くことの素晴らしさや大切さを考えてもらうことを目的にしています。今年は全国から、8,274点の作品が集まりました。



グランプリ作品

小学生の部		<p>石川 かの子さん(埼玉県) 和光市立白子小学校 2年</p> <p>『うしのしごと』 わたしのおじいちゃんとおばあちゃんは、らくのうかです。まい日まい日牛のおせ話をし、おちちをしぼったり、たまに赤ちゃんをうませたりしています。わたしは牛をさわるのはこわいし、赤ちゃんをうませることもできないし、早おきもにがてなので、何十年もらくのうかをしている二人はすごくかっこいいと思います。</p>
中学生の部		<p>古川 由佳さん(東京都) 共立女子中学校 3年</p> <p>『笑顔の絶えない花屋さん』 私の家の近くにある花屋さんはちょっと変わった花を売っていて、母と私が来店するといつも笑顔で迎えてくれます。花の話をしているときは本当に楽しそうで、この日も写真に写っているミニトマトに似た植物の話をしてくれました。アットホームな雰囲気の花屋さんは笑顔が絶えなくて花一本一本に注ぐ深い愛情を感じました。</p>
高校生の部		<p>渡邊 剛生さん(愛知県) 豊川高等学校 2年</p> <p>『地域守り隊』 北海道美瑛町の平和と安全の担い手は消防士の皆さんです。彼らのおかげで町民は安心して日々を過ごすことができます。そんな彼らには出会ったばかりの人にも笑顔をやしません。美瑛消防署での朝の勤務交代の最中、カメラを向けると署長自らが快く笑顔で応じてくれました。平和は笑顔から生まれるのだと、改めて気付かされました。</p>

準グランプリ作品

小学生の部		<p>佐々木 宜哉さん(東京都) 星美学園小学校 4年</p> <p>『大震災を乗り越えて』 岩手県宮古市は、東日本大震災の被災地です。そしてぼくの父のふるさともあります。この写真は、地元の魚菜市場に買い物に行ったとき撮ったものです。つらい震災を乗り越えて、明るく前を向いて働く市場の人々の姿に感動しました。ぼくも、どんな困難にも負けないで、がんばっていききたいと思います。</p>
中学生の部		<p>林 ゆうなさん(千葉県) 印西市立西の原中学校 1年</p> <p>『赤ちゃんかわいい』 私がこの写真をとろうとした理由は、二つあります。一つ目は私の将来の夢が保育士だからです。私は保育士の仕事を近くで見てみたかったのでとることにしました。二つ目は私のお母さんが保育園で働いているからです。お母さんはいつも仕事が終わって家に帰ってくるとその日あった出来ごとを笑顔で話してくれます。そのお母さんの姿を見て私も保育園で働きたいと思うようになりました。そして働くお母さんや先生達の姿を見てみたいと思い写真をとることにしました。保育園では先生も園児達もみんな笑顔な姿を見て「夢に向かって頑張ろう」と思いました。</p>
高校生の部		<p>川野 莉里花さん(大阪府) 大阪市立咲くやこの花高等学校 2年</p> <p>『まさに出産の瞬間』 難産で戦う親牛と子牛の分娩介助を施す伯父たちの姿を撮影しました。私や祖父母だけでなく、牛舎のすぐそばに住む伯母たちも一丸となって出産を応援し、無事元気な男の子が誕生しました。初めて見る光景に興奮し、手が震えていたことをよく覚えています。身をもって命の輝きを実感することができた素晴らしい瞬間でした。</p>

特別賞作品

富士フィルム特別賞		<p>原口 ひなたさん(福岡県) 福岡市立松島小学校 6年</p> <p>『おいしいいちご育てるよ!』 私の親戚は長崎でいちご農家をしています。この写真は、夏休みに長崎の祖母の家に遊びに行った時に、撮らせてもらいました。この日はとても暑い日でしたが、暑さに負けず笑顔で、丁寧に、いちごの苗の手入れをしている姿を見て、その笑顔がおいしいいちごを育てるための、魔法のように感じました。</p>
エプソン特別賞		<p>嶋田 紅秋さん(宮崎県) 宮崎市立加納中学校 1年</p> <p>『笑顔になれる花束』 私の母は、父と一緒に宮崎市内で小さな花屋をしています。今年で創業15年目になりました。母はいつも明るい笑顔で注文に応じ、手早く花束を作ります。受け取られた時のお客様はかならず笑顔になります。なので、たくさんの人を幸せにしているように感じました。そんな母の働く姿が大好きです。私達4人の姉弟を一生懸命に育ててくれる母に、とても感謝しています。</p>

全国写真専門部賞 高等学校文化連盟		<p>盛高 花奈さん(熊本県) 八代白百合学園高等学校 3年</p> <p>『見ていかんね〜?』 港町で昔懐かしの紙芝居師に出会いました。「見ていかんね〜?」と威勢の良い声。おじさんの笑顔に惹かれ、水飴を買うと物語が始まりました。巖流島の戦いを力強く熱弁する姿は、語り手というより演者。大人も子どもも夢中にさせる魅力を感じました。昔からのスタイルを変えずに続けてほしい文化だと思います。</p>
		<p>青山 富未さん(愛知県) 愛知県立小牧南高等学校 1年</p> <p>『ランドセルのおじさん』 この写真は弟が新一年生になるので、ランドセルを買いに行った時に撮影した一枚です。ランドセルの職人さんがとてもめずらしいと思って撮影させていただきました。職人の方はとても気さくな方で、快く承諾してくださいました。私は人とコミュニケーションをとることが苦手ですが、この時はとても楽しく話すことができました。</p>
		<p>有木 咲蘭さん(大阪府) 大阪市立天満中学校 2年</p> <p>『私の母』 私の母は、ヤマト運輸で働いています。母の職場に行き仕事を見ていると、その大変さや難しさが伝わってきました。最近では、ネットショッピングをする人が増え、配達や集荷をする荷物も多くなったそうです。私たちの便利な生活は、裏で頑張っている人達によって、支えられていることに、写真を撮ることで気づきました。</p>
	<p>永野 文美乃さん(神奈川県) 横浜市立綱島小学校 2年</p> <p>『まーちゃまのグラタン』 わたしのおばあちゃんの「まーちゃま」は 70 才を過ぎてから、おりようりのおしごとをはじめました。今は 76 才です。それまでは、家族のえがのためだけに、おりようりのくふうをしていたそうです。パパも大好きだった「グラタン」。今ではお店の人気メニューになりました。えがおではたらくまーちゃまは、キラキラしていてとてもきれいです！わたしもおりようりが上手になりたいです！</p>	

◆小学生の部 受賞者一覧(敬称略)

グランプリ	石川 かの子	埼玉県	和光市立白子小学校	2年
準グランプリ	佐々木 宜哉	東京都	星美学園小学校	4年
優秀賞	櫻井 あみ	埼玉県	志木市立志木第四小学校	3年
	柴田 蒼大	神奈川県	茅ヶ崎市立鶴が台小学校	2年
佳作	池田 慶二郎	大阪府	大阪教育大学附属天王寺小学校	6年
	江村 奏佑	鹿児島県	鹿児島市立清和小学校	1年
	小川 又周	福岡県	北九州市立沼小学校	3年
	北川 倅丞	熊本県	菊陽町立菊陽西小学校	5年

	小林 瑞季	茨城県	つくば国際大学東風小学校	1年
	佐藤 陽姫	山形県	鶴岡市立あさひ小学校	3年
	佐野 あつみ	東京都	府中市立府中第二小学校	2年
	谷口 青	東京都	大田区立清水窪小学校	4年
	前田 隆杜	愛知県	大口町立大口南小学校	3年
	松本 奈々	大阪府	大阪教育大学附属天王寺小学校	2年

◆中学生の部 受賞者一覧(敬称略)

グランプリ	古川 由佳	東京都	共立女子中学校	3年
準グランプリ	林 ゆうな	千葉県	印西市立西の原中学校	1年
優秀賞	後藤 ももこ	宮崎県	宮崎市立加納中学校	3年
優秀賞	傳 晴人	静岡県	裾野市立富岡中学校	1年
佳作	石川 愛理	福島県	郡山市立緑ヶ丘中学校	1年
佳作	上原 颯太	東京都	練馬区立南が丘中学校	1年
佳作	河村 夏希	北海道	帯広市立帯広第四中学校	3年
佳作	酒井 陽詩	福島県	南会津町立南会津中学校	2年
佳作	澤木 敦司	岐阜県	可児市立西可児中学校	1年
佳作	塩澤 悠介	山梨県	山梨大学教育学部附属中学校	1年
佳作	瀬尾 舞	愛知県	愛知教育大学附属名古屋中学校	3年
佳作	田中 立夏	大阪府	帝塚山学院中学校高等学校	2年
佳作	野中 育深	愛知県	愛知教育大学附属岡崎中学校	1年
佳作	樋口 真子	東京都	富士見丘中学高等学校	1年

◆高校生の部 受賞者一覧(敬称略)

グランプリ	渡邊 剛生	愛知県	豊川高等学校	2年
準グランプリ	川野 莉里花	大阪府	大阪市立咲くやこの花高等学校	2年
優秀賞	井柳 凜	静岡県	静岡県立韭山高等学校	1年
優秀賞	道畑 あおい	和歌山県	和歌山県立神島高等学校	1年
佳作	生駒 彩音	東京都	日本大学豊山女子高等学校	3年
佳作	太田 愛有未	福井県	福井県立丹生高等学校	3年
佳作	菅 開智	愛媛県	愛媛県立今治北高等学校 大三島分校	2年
佳作	京藤 和	福井県	福井県立丹生高等学校	2年
佳作	篠原 國彦	東京都	暁星高等学校	3年
佳作	白川 歩実	大阪府	大阪市立工芸高等学校	1年
佳作	高濱 礼実	熊本県	八代白百合学園高等学校	3年
佳作	原田 哲成	愛知県	愛知県立田口高等学校	3年
佳作	村松 真帆	愛知県	愛知県立津島東高等学校	2年
佳作	吉田 結	愛知県	愛知県立半田農業高等学校	1年

◆特別賞 一覧(敬称略)

富士フィルム特別賞	原口 ひなた	福岡県	福岡市立松島小学校	6年
エプソン特別賞	嶋田 紅秋	宮崎県	宮崎市立加納中学校	1年
高等学校文化連盟 全国写真専門部賞	盛高 花奈	熊本県	八代白百合学園高等学校	3年
アイデム Good Job 賞	青山 富未	愛知県	愛知県立小牧南高等学校	1年
	有木 咲蘭	大阪府	大阪市立天満中学校	2年
	永野 文美乃	神奈川県	横浜市立綱島小学校	2年

◆団体奨励賞 一覧

小学校の部	大阪府	大阪教育大学附属天王寺小学校
中学校の部	大阪府	大阪市立天満中学校
高校の部	熊本県	八代白百合学園高等学校

アイデム写真コンテスト「はたらくすがた」について <https://www.aidem.co.jp/csr/photocontest/>

アイデム写真コンテスト「はたらくすがた」は、身の回りの大人の働く姿をテーマに、小学生・中学生・高校生を対象として2005年より開催しております。求人広告の発行を事業とするアイデムにとって、働くことの素晴らしさ、大切さを次の世代を担う子供たちに伝えていくことは、広く社会に向けた活動の重要な柱です。当コンテストを通じて「はたらくすがた」に目を向けることが、より多くの子供たちにとって仕事について考えるきっかけとなることを願っています。

第15回はたらくすがた 概要

<テーマ> 身の回りで働く大人の姿

<応募資格> 小学生・中学生・高校生

<募集期間> 2019年5月17日～9月12日

<賞> 小学生の部・中学生の部・高校生の部
 ・グランプリ 各部門から1点
 ・準グランプリ 各部門から1点
 ・優秀賞 各部門から2点
 ・佳作 各部門から10点
 ・富士フィルム特別賞 小学生部門から1点
 ・エプソン特別賞 中学生部門から1点
 ・高等学校文化連盟全国写真専門部賞 高校生部門から1点
 ・アイデム Good Job 賞 全部門から3点
 ・団体奨励賞 各部門から1校

<選考委員> 選考委員長:田沼 武能(写真家)

委員:わだ ことみ(絵本・構成作家) / 別府 薫(朝日小学生新聞編集長)

<応募件数> 3部門合計:8,274点(418校)

受賞作品展

- <期 間> 2019年11月21日(木)～12月4日(水) (※日曜日を除く)
<時 間> 10:00～18:00 ※最終日は15:00まで
<料 金> 入場料無料
<場 所> アイテムフォトギャラリー「シリウス」(アイテム本社ビル2階)
※ 東京都新宿区新宿1-4-10 / 東京メトロ「新宿御苑前」より徒歩2分

表彰式

- <日 時> 2019年11月23日(土・祝)
<場 所> ホテルニューオータニ(東京)

<株式会社アイテムについて> <https://www.aidem.co.jp>

アイテムは1970年の新聞折込求人紙に始まり、人に「はたらく」感動を、企業には「人材」という価値をつなぎ、地域が発展できる社会の実現を目指してきました。求人サイト「イーアイテム」等の求人メディア、逆求人型新卒採用サイト「JOBASS新卒」、採用ホームページ構築サービス「Jobギア採促」、新卒・中途の人材紹介といった時代の変化にも対応した採用支援だけでなく、労働雇用状況や社会の課題にも目を向けた調査分析、情報提供を行っています。これからもアイテムは、人と企業をつなぐ人材サービスを展開していきます。

アイテムフォトギャラリー「シリウス」 <https://www.photo-sirius.net/>

<本件に関する取材・画像データのお問い合わせ先>

株式会社アイテム 広報担当：望月・栗木 電話：03-5269-8780 kouhousitu@aidem.co.jp